

# 大好き! 幾春別川

DAISUKII IKUSYUNBETSU RIVER

発行元: 幾春別川ニュース編集委員会  
編集委員長 嵯峨 健雄

〒068-0007  
岩見沢市7条9丁目 石狩川開発建設部岩見沢別川事務所内編集委員会事務局  
TEL: 0126-23-6555 FAX: 0126-25-1697



## 豪快!! カヌー競技会

### ネーミング決定!

たくさんのご応募、誠にありがとうございます。  
編集委員による厳正な選考会議の結果、「大好き! 幾春別川」が本誌のネーミングに選ばれました。ネーミングが採用された1名様と、最終選考に残った7名様に、創刊号でご案内した記念品をお送りいたします。  
愛される情報誌をめざしてがんばりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

— 編集委員会一同 —



## 幾春別川地域懇談会 高まる地域の関心

幾春別川を軸とした地域発展や地域連携、そして今後の川づくりについての意見交換の場として、流域の市民団体、教育関係者、行政や河川管理者など15人をメンバーとした「幾春別川ふるさとの川づくり懇談会」が設立され、第1回目の会合が6月26日、岩見沢市コミュニティプラザで行われました。(写真)

今回は、規約の確認や事務局から幾春別川の概要や地域の自然・社会環境について説明があった後、各委員から川に対する想いが述べられ、お互いのパートナーシップの構築を図っていくことで確認しました。

懇談会の模様については、石狩川開発建設部のホームページに掲載されています。



カヌー愛好者たちもいました。本州のアウトド  
カヌー愛好者た  
ちの腕を競う「幾  
春別川カヌー」の  
第11回目の大会が  
6月21・22日、三  
笠市西桂沢の幾春  
別川で開催されま  
した。  
大会として定着し  
ました。  
競技は、16ヶ所  
の旗門をつくった  
長さ500メートル  
のコースを下る  
スラローム。約2  
キロメートルの  
長いコースでタイ  
ムを競うダウンリ  
バー、ロデオ競技  
などの4種目。地  
元や札幌、釧路な  
どから集まった男  
女約50人のカヌー  
愛好者たちが上流  
の清冽な急流と格  
闘しながら、力強  
い出の深まった大  
会となりました。

こぼれ話  
Part 2

知っていますか「地名の由来」

桂  
沢には、桂の木が密生して  
いたので名付けられたと伝え  
られています。

西桂沢の開拓は明治27年の入植に  
始まりました。幾春別川国有林が密生  
林野間の管理下にあった時代、明治  
39年に農地開拓のため15戸が入植し  
て部落ができ、桂沢御料地とされま  
した。しかし、ダム建設によって  
水没区域の「御料地」部落は、昭和  
29年に解散となりました。

国有林を含む桂沢全庫は、保存度  
の高い白亜紀の動物化石の産地とし  
て有名です。

……(出典「三笠市史」)

# まちを華やかに—フラワーライン開催— 幾春別川をよくする市民の会



「石炭を洗い、野菜を洗い、時として列車までも洗っていた幾春別川。生活と密着し、親しみをもってその大きな役割を果たしてきた。しかし、異れ川でもあった幾春別川は、時に大きな災害をもたらしました。時を経て、護岸が整備され、生活と経済が脅かされることはなくなりましたが、川と人とのつながりはや遠のきました。しかし、やはり人と川とは求め合い、日々に求められ、良好な水辺環境を広げていくため、市民の会でも毎年「サクのほる川」地域ふれあい清掃を展開し、川辺のゴミ拾いなどを行い、水辺環境の整備を進めています。こうした活動の成果は着々と実を結び、山のローズ、ミヤコグサ、オリエンタルボビ、ナデシコ、ミモすっかりなマーガレットなど近寄りやすい環境へと大きく変化しました。さらに、より一っそう幾春別



平成5年、石狩川に親しみをもち川サミットにおいてもらうため、48市町村の総意「フラワーライン」により「石狩川の事業」の活動がはじまりました。この事業は、毎年少い花を植え、川を花の線で結んでいこうというもので、

今年、狩野橋付近の左岸に幅が1.5メートル、長さが63メートルの花壇を整備しました。クリスマスローズ、ミヤコグサ、オリエンタルボビ、ナデシコ、マーガレットなどの花が、流域町内の住民や市民の会会員の手によって植栽されました。

## 旧美唄川をみんなできれいに!

北村の川を愛し・良くする会  
山の無い北村の輝き  
北村ライオンズクラブ

7月の河川愛護月間に合わせて北村の川を愛し・良くする会(奈良健二会長)の主催で12日、河川清掃と補植作業が行われました。「山の無い北村の輝き」の輝き「北村ライオンズクラブ」「幌漣布新水路事業対策協議会」も参加し、総勢で45名が旧美唄川沿いの桜づつみ公園に集まり、7種類の花の花壇の築き上げを行いました。また、水辺の楽校(がっこう)で、黄たは土を耕し、黄花コスモスやルビナ



## 幾春別川の河川施設① ～護岸の秘密～



川のほりを散策していると、川岸に張られたコンクリートブロックが目につくことがあります。これは、川岸を削ろうとする川の浸食作用から堤防などの河川施設を守るために設置された「護岸」です。



護岸の上に雑草が復元されました

護岸は、水の力が強くかかる川の外カブ(水衝部)や、堤防が川に接近している場所、橋の周辺や樋門(ひもん)、そして頭首工などの重要な構造物の周辺にも設置されています。土砂が削り取られないように、「護」(よろい)の役目を果たしているのです。洪水の時には恐ろしい牙をむく川も、首段は自然豊かな、うるおいのある空間となります。このため近年、護岸ブロックの上を土で覆ったり植栽などを行っています。また、石や木材などの自然素材を護岸に用いて、水辺環境の保全に配慮した工法で施工されてきています。

## 幾春別川の源流を訪ねて

標高の最も高いところに源流があると思えば、それは幾春別川(1062.8メートル)ということになります。



ロープを使いながら沢を登ります

思っています。

しかし、水源までの距離が最も長い所で、水量の多い湧水点や源流とする、岩見沢市、三笠市、夕張市、栗沢町の4つの境界上にある幌向岳(8336.3メートル)が幾春別川の源流と考えられます。

平成10年と11年に、当会では一般公募で参加者を募り、幾春別川の源流探査体験を2度行いました。

夕張境の三ツトンネル手前のホロモイ沢林道に入ると、1キロメートル、石に奥幾春別川、左にホロモイ沢が合流しています。両方とも水の切れるまでの長さと同様、水量もほとんど同じでした。

前者の源流が湿地にあり、後者は池という違いですが、前者には前に「奥」がついていることから、先人も奥幾春別川を源流として認識していたのではないかと

思います。

両方の沢の源流は幌向岳の北麓面の崖下にあり、カール(氷河の侵食によって山地の斜面に生じた半円形の窪地)の底状のような平地で、熊の棲家(すみか)のような深い森の中でした。

そのあと、残雪期に奥幾春別川からと、今年1月にはホロモイ沢から幌向岳に登りました。

頂上は平らで広く、北は夕張岳、幾春別川、岸別岳、桂沢湖と見渡せ、西には上志義のスキー場、石狩平野南には宇未峠の向こうに日高の海も光って見え、すばらしい眺望でした。

(三笠の湖・川・緑を愛する会会長 高橋和憲)



奥幾春別川源流



ホロモイ沢源流

あす、三笠でダムフェスタ  
楽しいイベントが盛りだくさん



三笠市恒例の夏のイベント「三笠ダムフェスタ&みかさ遊園まつり」が、今年も明日27日にみかさ遊園で開催されます。昨年は、「さいころゲーム」や「金魚と稚鯉のつかみどり」などが行なわれ、真夏の三笠が大いににぎわいました。今年も、遊んで楽しめるイベントが盛りだくさんです。建設中の「新桂沢ダム」や「三笠ほんべつダム」についてもパネルで紹介されています。夏休み最初の日曜日は、「三笠ダムフェスタ&みかさ遊園まつり」に足を運んみませんか!

桂沢トムソーヤキャンプ  
自然にふれよう! 学ぼう!



「森と湖に親しむ旬間」行事の一つとして、桂沢トムソーヤキャンプが、8月2日~3日(1泊2日)に桂沢湖畔及びみかさ遊園で開催されます。「三笠の湖・川・緑を愛する会」「幾春別川をよくする市民の会」「北村の川を愛し・良くする会」が中心となり、ダムや河川、水源の森に親しみ、それらを身近なものに感じる機会として開催されています。今年「桂沢湖の自然を体験しよう」をテーマに、ネイチャーゲームやカヌー、ツリークライミングなどの体験をします。

名産紹介

北村のによろによろ

ドジョウ料理と言えば九州の柳川地区が有名ですが、ドジョウ自体は北海道の農村地域でも古くから親しまれてきた食材です。そして、漁獲量に関しては北村が日本一とされています。

コリコリとした歯ごたえ、ダシの利いた煮汁は旨みとコクがあり、野趣あふれる味わいです。「北村温泉ホテル」のレストランでは「柳川風」にアレンジされた料理を楽しむことができます。また、8月半ばに開かれる「田舎(かっぱ)フェスティバル」では唐揚げになって登場し、サクサクとした食感が子供たちにも大人気とか。

北村でドジョウの出荷が始まったのは昭和45年から。漁獲された天然のドジョウは石狩市の水産会社に卸され、主に関西や近畿地方に出荷されています。年間600~700キログラムほどがとれますが、15年ほど前は「一朝で2トンとれたことがあった」と、北村淡水魚組合の会長、鎌田賢一さんと副会長の外崎善一さん。2人とも農業を営みながらドジョウをとって30数年になります。漁獲量が減っているのは、用排水路の整備や農薬などが影響しているようです。

「おいしいドジョウを料理したい」という場合は、1キログラム1,500円で購入することができます。連絡先は0126-56-2549(井町茂吉さん)まで。



ドジョウの入ったかごを持つ外崎さんと鎌田さん(右)



新桂沢ダム完成予想図

三笠ほんべつダムは、新規に幾春別川の支川奔別(ほんべつ)川にダムを建設します。この2つのダムが完成すると、桂沢ダムだけでは十分ではなかった洪水の調節機能が強化されます。さらに河川環境を保全する流置の確保、上水適用水

三笠ほんべつダムは、新規に幾春別川の支川奔別(ほんべつ)川にダムを建設します。この2つのダムが完成すると、桂沢ダムだけでは十分ではなかった洪水の調節機能が強化されます。さらに河川環境を保全する流置の確保、上水適用水

三笠ほんべつダムは、新規に幾春別川の支川奔別(ほんべつ)川にダムを建設します。この2つのダムが完成すると、桂沢ダムだけでは十分ではなかった洪水の調節機能が強化されます。さらに河川環境を保全する流置の確保、上水適用水



三笠ほんべつダム完成予想図

幾春別川リバーパーク  
パークゴルフ場がオープン

「幾春別川リバーパーク」パークゴルフ場が、6月1日、岩見沢市若見沢にオープンしました。当日はあいにくの雨でしたが、オープンを心待ちにしていた地元や市内の会の人々や、パークゴルフの愛好者がたくさん集まりました。

利用料金 1人300円、クラブとボールの用具一式は1,000円です。記念としてコースにフレイが利用時間から午後7時まで(9月1日以降は午後5時30分まで)が定休日です。



問い合わせ先は岩見沢振興公社(0126-23-4111)または、現地受付(0126-25-8989)まで

# 川を愛する団体をご紹介します Part. 2 三笠の湖・川・緑を愛する会



緑の回廊づくり

当会は、三笠市  
内の自然環境団体  
などが一つになっ  
て、住民の親水と  
水環境の保全、愛  
護を目的に平成8  
年12月に結成し、  
植樹、幾春別川源



会員手作りの流域地図

現在149  
名の一般会  
員と、25の  
団体会員、  
8名のオブ  
ザーバーで  
構成してい  
る。これまでに親子  
釣り教室、ユラティ  
ング体験と川の泳  
ぎ方教室、幾春別  
川クリーン作戦や  
植樹、幾春別川源  
に携わる全道の団  
体や行政機関に呼  
びかけ、実地研修  
や情報交換、交流  
を行いました。今  
秋に第2回目を予  
定しており、各団  
体の取り組みや前  
回のサミットで出  
された問題点など  
を話し合い、河川  
への理解と関係団  
体間の交流をさら  
に深めていきます  
と考えています。



水辺の楽校サミット

流探検のほか、幾  
春別川マップ作成  
事業などを実施し  
てきました。昨年  
は、当会を含む幾  
春別川流域3団体  
と共に「桂沢ダム  
ソーヤキャンプ」  
を行い、今年も計  
画中です。  
一昨年には、全  
道初の「水辺の楽  
校サミット」を開  
催し、水辺の楽校  
に携わる全道の団  
体や行政機関に呼  
びかけ、実地研修  
や情報交換、交流  
を行いました。今  
秋に第2回目を予  
定しており、各団  
体の取り組みや前  
回のサミットで出  
された問題点など  
を話し合い、河川  
への理解と関係団  
体間の交流をさら  
に深めていきます  
と考えています。

## 川のおしごと Part2 桂沢ダム管理所

みなさんが生活するうえで大切  
な飲料水や、お米を作るための水  
はどこから流れてきているのでしょ  
うか。桂沢ダムがそれらの水を蓄  
えています。

抑えるため貯水池内に貯める「洪  
水調節」、ダム湖に貯めた水を利  
用した「上水道用水」「農業用水」  
「水力発電」となっています。

桂沢ダムは洪水の総えなかつた  
幾春別川の水害を防ぎ、農業・上  
水道用水や電力の安定供給を目的  
として計画されました。昭和26年  
から建設を始め、昭和32年に完成  
しました。水を貯水しているダム  
湖が桂沢湖なのです。総貯水容量  
は、札幌ドームの約59個分の水を  
蓄えることができます。

みなさんの暮らしにうるおいを  
もたらす水源地を守ることは、大  
変に重要なことです。豊かな水を  
蓄えられますよう、水源地をこれか  
ら管理していきます。

桂沢ダムの役割は4つあります。  
台風などの降雨による洪水被害を



煤田の調査時に建立された記念碑

今は清らかに流れる幾春別川  
のライマンたちが護るべく、  
ですが、地域のお年寄りは「昔  
は真っ黒だったよ」と振り返り  
ます。幾春別川の流域に大規模  
な石炭層があり、大量の石炭が  
産出されていたからでした。  
明治5年、松五郎という漁師  
が「燃える石がある」と、奇妙  
な報告を札幌  
本庁にしてき  
ました。技師

### 川 の記憶「幾春別川と炭鉱」①

「運び出すか」という問題で、  
鉄道という方法が提案され  
ました。路線は「炭山から  
幾春別と幌内川の合流点で  
ある幌内太(今の三笠市)  
まで」「炭山から室蘭まで」  
の2案が出されました。特  
別、開拓使の財政的事情か  
ら幌内炭山と幌内太間の案

## 幌内炭山発見と鉄道

を基本とし、米国人技術者  
クロフォードの提案により  
幌内太から札幌へ手宮まで  
延長し、約90キロメートル  
をつなぐ路線工事が着工さ  
れました。  
明治13年11月、手宮と札  
幌間が開通し、同15年には  
幌内までつながり、幌内炭  
山の石炭を運搬する体制が  
整えられました。  
北海道初の鉄道は「炭田  
の開発」を主目的としたも  
のでしたが、やがて物資輸  
送や産業振興のための動脈  
となり、北海道の開発に火  
かきつけたと見られます。



今春、3年ぶりに放流が行われた桂沢ダム

## 行事予定

- 田舎(かっぱ)フェスティバル  
開催日: 8月16・17日  
開催場所: 北村農村環境改善センター  
駐車場
- 主催: 田舎(かっぱ)フェスティバル  
実行委員会
- Eポート大会  
開催日: 8月23・24日  
開催場所: 新築津村しのつ湖  
主催: 水環連北海道会
- 水辺の楽校サミット  
開催日: 9月上旬

- 開催場所: 三笠水辺の楽校「であい」  
主催: 三笠の湖・川・緑を愛する会
- 住民参加による旧美唄川河川調査  
開催日: 9月上旬  
開催場所: 北村旧美唄川  
主催: 山のなび北村の輝き
- 幾春別川クリーン作戦・緑の回廊づ  
くり事業  
開催日: 10月上旬  
開催場所: 幾春別川クリーン作戦・三  
笠橋下まが市6ヶ所、緑の回廊づ  
くり事業・幾春別川上流右岸
- 主催: 三笠の湖・川・緑を愛する会
- サケの遡上観察  
開催日: 9月下旬~10月下旬  
開催場所: 滝山川向頭直上
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会
- サケの特別採捕・見学  
開催日: 10月中旬  
開催場所: 川向頭直上
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会
- 緑の回廊・市民植樹  
開催日: 10月下旬  
開催場所: 滝山橋下流150m
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会
- 緑の回廊づくり事業  
開催日: 10月下旬  
開催場所: 幾春別川比羅橋上流

- 主催: 北村の川を愛し・良くする会
- サケの養親卵受け入れ  
開催日: 12月上旬  
開催場所: 岩見沢市水道庁舎設置室
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会
- 第2回旧美唄川雪中植林  
開催日: 2月7日  
開催予定場所: 開基橋下流
- 主催: 山のなび北村の輝き
- サケの放流壮行会  
開催日: 平成16年4月中旬  
開催場所: 若松町
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会